

2026 年度ゼミ（演習 2A／演習 2B）要覧

担当者名	平山恵
演習テーマ	地球と私の健康のために考え行動する
校外実習	①、実施しない ②、実施（実施時期：2027年2月）2年生と合同で行う。
メール・アドレス	megumix@k.meijigakuin.ac.jp
オフィス・アワー	現在サバティカル中ですので質問は email でお願いします。
2027 年度に 開講しない可能性 (研究サバティカル)	なし。
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地球規模の課題とそれに対処する方法を学ぶ。現在行われていることを整理した上で、自分自身でもできることを考え、ゼミのメンバーや専門家と考察する。小さなことでも、自分たちでできることを実施するアクションリサーチを行い、その結果を振り返るサイクルを繰り返す。</li> <li>・ 卒業生やゼミアドバイザーと討論する年2回の合同ゼミに向けて文献を整理し、レジュメを作成し、討論し、振り返る。</li> </ul>
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地球の課題と自分たちとの関係について知識を得る。</li> <li>2. 卒論に向けて、何を探求したいのか周辺の問題を明らかにする。</li> <li>3. 合同ゼミに新しい知識を紹介し、討論したことで得たものを自分の新しい知として取り入れる。学んだものを小さくても社会に還元できるような小さな行動を行う。</li> <li>4. 他の人と知識や技術や行動力を高める。</li> </ol>
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ゼミ教員が文献リストの中から合同ゼミに使いたい文献を選ぶ。</li> <li>2. 文献のレジュメを分担して作成し、ゼミ内で発表し討論する。 その際の進行、記録はゼミ生が交代で行う。</li> <li>3. 合同ゼミ（5月）を実施する。討論の進行、記録を行い参加者にフィードバックする。</li> <li>4. 春の合同ゼミ後は、校外実習についての予習と、秋学期から始める卒論に向けて自分の取り組みたい関心テーマについて深める。</li> </ol>
予習	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 文献を読んでくる。</li> <li>2. 分担した文献のレジュメを作成し、発表準備を行う。</li> </ol>
復習	文献の内容と自分自身の関わりを考える。
授業に関する 注意事項	(自主性ではなく) 主体性をもって演習に取り組んで欲しい。
教科書	<p>1 冊目は次の文献からゼミ生が選択するか、ゼミ生が提案する。</p> <p>富永京子(2023)『なぜ社会は変わらぬのかーはじめての社会運動論講談社現代新書』、山田正彦(2023)、『子どもを壊す食の闇』鶴岡路人(2024)『はじめての戦争と平和』ちくまフリー新書、塩原良和 (2025)『共生の思考法—異なる現実が重なりあうところから』明石書店、池本幸夫 (2025)『不正義の克服—アマルティア・セン「正義のアイディア」を本音で読み解く』明石書店。2 冊目以降はゼミと相談して決定する。</p>

参考書	「アカデミックライティング・ハンドブック」明学教養教育センター
成績評価の基準	ゼミと合同ゼミでのレジュメと発表(30%)、進行・記録・発言 (30%)、ゼミ初めの誓約書とそれに基づく自己評価(10%)、期末レポート (30%)
関連 URL	
認定留学期間中の遠隔指導	可 / 否 / その他( 演習に貢献できるのであれば可能。面接した上で決定する。)
備考	<p>【重要】11月30日(日)までに以下の2種の文書をemailに添付して提出して下さい。必要に応じてオンラインで面接を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 演習1で学んだことをA4で1頁程度に説明。1頁以外に自分で作成したレジュメ等があればそれを別添とすることは構わない。</li> <li>2. この演習2を選んだ理由（演習1の担当教員が2026年度不在だからという理由だけでは不十分）をA4で1頁程度。</li> </ol>